

### 令和3年度の地方創生推進プロジェクト（案）について

令和4年度の事業実施に向け、令和3年度に新たに地方創生推進プロジェクトとして取り組む2つの事業を検討しています。

プロジェクト1		
子育て世代が働きやすい環境整備の検討		
第2期創生総合戦略	施策	施策2-2 「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	指標 (KPI)	① 病児保育のサービス拠点数 (H30) 5 拠点 → (R6) 14 拠点
		② 年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると感じている市民の割合 (H30) 21.2% → (R6) 35.0%
手段 (※)	<u>子育て世代が働きやすい環境をつくるため、育児等を理由とした休暇取得に対し、支援する仕組みをつくる。</u>	
プロジェクトの概要	<p>令和2年度プロジェクト「病児保育のあり方検討」の協議の中で、推進委員会等から「病気の時には本当は子どものそばに居たい、本当は無理して保育園に預けたいとは思っていないことを理解してほしい」という意見があった。</p> <p>厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策として、学校臨時休業等を理由とした休暇取得に対し給付金を支払う制度（小学校休業等対応助成金）等を参考にしながら、仕事と子育ての両立のための選択肢として、病児保育施設の開設と並行して、育児による休暇取得奨励のあり方を検討する。</p>	
主導する部	健康福祉部健康・子育て担当	

※ 事業化するタイミングで、第2期丹（まごころ）の里創生総合戦略に追加する。

プロジェクト2		
ふるさと移住の促進に向けた移住施策の再構築		
第2期創生総合戦略	施策	施策3-1 「人と人のつながりをつくる」
	指標 (KPI)	① 相談窓口を利用して移住した年間世帯数 (H30) 29世帯 → (R6) 30世帯
		② ふるさと住民の累計登録者数 (H30) 393人 → (R6) 1,000人
	手段1	住まい・仕事・コミュニティ・交流など移住に必要な情報がまとまった窓口や、お試し移住やお試しテレワークなどのニーズと、民泊などのコミュニティ型宿泊支援とのマッチングを図る仕組みづくりなど、移住支援の充実を図る。
手段2	子育て世代の移住や新婚世帯の定住など、ライフステージの移住・定住支障事例を集め、それに対応した子育て世代移住支援パッケージをつくる。	
プロジェクトの概要	<p>「帰ってこいよ」のまちづくりに向け、出生から高校生までの成長過程に、丹波市との結びつきを生むような取組と、大学卒業から出産・子育てのライフステージに合わせ、丹波市での暮らしを選んでもらえるような取組について検討を進める。</p> <p>検討に当たっては、お試し移住などの移住促進策と、政策ターゲットである若者や女性向け施策の両面からアプローチする。</p>	
主導する部	企画総務部政策担当	